

小学校算数

全国を基準とした清水町の子ども学習指導要領の領域別学力の定着(2017年)

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数 A	★	○	★	☆
算数 B	○	○	○	○

- 全国とほぼ同じ水準である。
- ☆☆ 全国を大きく上回っている。 ☆ 全国をやや上回っている。
- ★ 全国をやや下回っている。 ★★ 全国を大きく下回っている。

これまでの取組の成果(十分な定着が見られる)

- 資料の読み取りや整理などの数量に関する問題は、高い正答率であり、学力が定着しています。
- 表から分かることを読み取り、問題を解く力が十分に身に付いています。

これからの課題(定着が十分でない)

- 数と計算では、特に、わり算の商を分数で表す問題に課題が見られました。

例① $5 \div 9$ (商を分数で表しましょう。)

正答 → $\frac{5}{9}$ 誤答 → 0.555…と小数で表している。 $\frac{9}{5}$ または $1\frac{4}{5}$ と分母と分子の数字が逆。

- 図形問題を苦手としている子どもが多く、特に、角度を求める問題に課題が見られました。

例② 円を使って正五角形をかくときに、円の中心のまわりの角を求める問題

正答 → 72度 【式】 $360 \div 5 = 72$

誤答 → 60度(右下図3 三角形ABOを正三角形だと捉えてしまった可能性があります。)

点Oを中心とする円を使って、図1のような正五角形をかきます。

図1の点A、点B、点C、点D、点Eは正五角形の頂点です。

まず、図2のように半径をかき、円周と交った点を点Aとします。

次に、図3のように半径をかいて点Bの位置を決めます。このとき、角⑦の大きさは何度になればよいですか。答えを書きましょう。

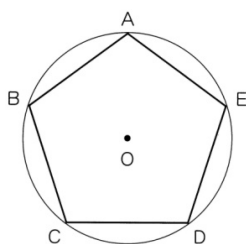


図1

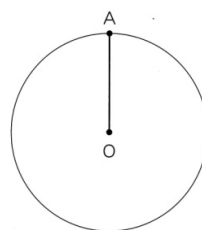


図2

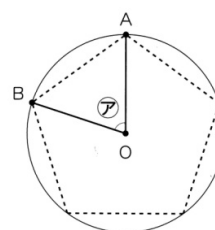


図3

成果を伸ばし、課題を改善する手立てなど

- 分数の計算や図形は、先生や友達に聞いて、問題の解き方や意味を知って、自分の力で『やってみる』ことで「分かる」「できる」を増やることが大切です。計算問題については高い正答率だったので、これからも自信をもって取り組めるように、繰り返し練習して力を高めていくことが必要です。
- 御家庭でも宿題の様子を見たり、授業の内容について、話をしたりする機会をつくってください。学んだことを復習することで、学習内容が定着します。御家庭と学校の両面から子どもたちを支えていくことで、算数の力を伸ばしていくことができるでしょう。